

Title	日本語・日本文化 第27号 奥付
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化. 27
Issue Date	2001-03
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/21861
DOI	
rights	本文データはCiNiiから複製したものである

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

執筆者紹介 (掲載順)

嶋本 隆光	本センター助教授
中田 一志	本センター講師
荘司 育子	本センター講師
岸本 恵実	本センター助手
中井 淳史	本センター非常勤講師

編集後記

本センターは大学及び大学院入学前予備教育機関であると同時に、国費日本語日本文化研修留学生(日研生)の教育を担当する部門でもある。日研生は、母国の大学で日本学等を専攻する学部レベルの留学生であり、「比較・対照」を視座として日本語なり日本文化を探求しようとする彼らの存在は、教官側の研究活動にも大いなる刺激となる。居ながらにして、海外の日本研究の動向や方法論を垣間見ることができるからである。

昨年10月には、「日本語日本文化特別コース」が大学院博士前期課程に開設され、学位取得を目指す「大学院レベルの日研生」とも言うべき留学生を新たに迎えることになった。現在、センター教官を中心としてその研究指導が行われているが、近い将来、修了生の論文が本誌を飾ることになるやもしれぬ。我々にとっては指導の成果が問われるところでもある。

今号(27号)では、比較文化の枠組みを考察した巻頭の嶋本論文以下、5論稿を掲載することができた。来年度のセンター教授会発足に向けて、その準備に追われる専任教官から多くの寄稿があったことは編集部として喜びである。特に、京都大学に内地研究員として赴かれていた荘司講師には、研究成果の一端について執筆をお願いした

ところ、締め切り間際であったにもかかわらず、快く引き受けて下さった。ここに改めて感謝したい。(H.K)

『日本語・日本文化』投稿規定

1. 資格: 本センター所属教官(非常勤を含む)及びセンター学術出版委員会において適当と認められた者。
2. 内容: 日本語・日本文化等に関する未発表の研究論文・研究ノート・研究報告。
3. 体裁: 研究論文は400字詰原稿用紙50枚前後(欧文はA4ダブルスペース30枚前後)、研究ノート・研究報告は25枚前後(欧文は15枚前後)。
4. 要旨: 本文和文の場合、欧文による要旨(A4ダブルスペース1枚)を、欧文の場合は、和文による要旨(800字程度)を添付。
5. 採否: 原稿の採否はセンター学術出版委員会(『日本語・日本文化』編集委員会)が決定。

編集委員

加藤 均 水田明男 岩井康雄
五之治昌比呂 岸本恵実

日本語・日本文化 第27号

2001年3月29日 発行

編 集 大阪外国語大学
発 行 留学生日本語教育センター
〒562-8558
箕面市粟生間谷東8-1-1
電話 (0727) 30-5459
FAX (0727) 30-5074
印 刷 中西印刷株式会社